

# ほりい隆彦語録集

## 実績は過去のこと、

そのことに縛られたくない。

それ以上の時代がやってきた。

チャンスはピンチ、ピンチはチャンス。

大海へ出た以上、思いきって、

やるしかないんだ！

社会に活かされていることを忘れて

権利ばかりを主張するのは

どうかと思います。

福祉・介護



愛や慈しみ、肌の温もり  
あるいは憎しみといった  
人間らしい匂いのある社会は  
お互いが支え合い、  
自立をめざす、そういつた  
一つの家族から  
つくられていくのです。  
自分の親は  
自分が看るようになりたいですね。

介護

これは社会や施設に頼るのでなく

『人が人を看る』

というところから考えなくてはでしょう。

『本当の介護』とは、

お年寄りとその方を囲む家族の生活を

手助けするものだと思います。

『肌がふれあう商売』

が必要だと思います。

地域間で人が動けば、市民も商売をする人も

あなたも喜び自分も潤うでしょう。

地元のお店で買い物したりすることが

消費者に得になるといいます。

もちろんボールしてはいいのですが。

商業

日本の税制は素晴らしい。

ただ『施策を活用する』必要があります。

それは、施策というルールに対する

適切な運用方法を考え出すということです。

知恵を売るのはなく、

自分で汗を流す。

考えることを活かして、努力する。

そうやって、社会の中に溶け込んで

必死に働くべきです。

私は市議会議員を24年勤めてきました。  
議会の数の論理である慣習を守ってきました。  
ところが、時が経ち数の論理が危うくなり時代はTPOを  
無視した結果立場が逆転してくると慣習を無視したと吹聴する  
人々が出てくる。人々としてのモラルがあるのでしょうか。

日本は紆余曲折を経て、  
川を乗り越え今ようやく大海に出た。  
が、夢ばかりを追って

それを実現するための汗を忘れている。

例えば、地球温暖化による海面水位の上昇分を

砂漠へ移送する策は考えられないのか。

熱やガスを宇宙空間に放出する策はないのか。

政治家や国民は大海で何かに気づいて、行動に移せるのだろうか。

環境・街づくり

各住宅に小さな箱庭を多くつくるまじりつは大きな公園をつくるほうが有効ではないか。  
例えば守山なら地下水を利用してその森に『蛙』を飛ばせばいいでしょう。

守山に『蛙』が戻ってきたのは、川の掃除をして美しく、

卵を産みやすくなっただけ。

蛙が卵を産む時は、それを妨げないよう少人数がそと川に入って掃除します。

そうやって『自然の声を聴く』のです。

蛙からどうすればいいのかわかってもいいです。

『徹底的に手を加えて昔の状態に戻すこと』

『徹底的な自然共生化』自然そのままで維持管理すること。

自然共生化は自然そのままで維持管理すること。

『ごみを捨てるあなたの心が私は悲しい』

例えば、守山駅前に『木森』をつくること

憩いの提供と共に

商業も活性化されると考えています。

そこには様々な工夫が必要ですが。



多くの人が経済政策の数字に弱いと感じている。

『経済学』を学べば給料が減ることも

その対処の仕方や工夫が見つかるはず。

現状を克服する『ハングリー精神』

を養う必要があるのです。

『計数化』をよく口にします。

数字データの蓄積と分析から『TPO』に応じた

適切な案を考え出すことが必要だからです。

それは具体的にいうと

『魚のいるところに網を落とす』ということ。

教育・ボランティア

教育に大切なのは、日常生活の中で

『自らが行動すること』

そして『現状をしっかりと見る』こと。

一人一人が社会です。

『真のボランティア』は

自分だけが稼いだお金をやるのではなく、

『手をかける』ということとは『体罰』ではない。

自見を見直して、『コミュニケーション』を

本来の姿のあり方を考えては、『ボランティア』

は、『身を美しくする』ことではない。

議員・人として

ガンガン問題提起をして、ガンガン語り、ガンガンやって

学び・考え・汗をながして行動することばかりではない。社会を構成する一人ひとりのために。

